

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	単価の動き	・気温の低い日が続き、冬物商材の売上が一定水準を保っていることが景気の向上に役立っている。また相場高に推移していることもプラス要因である。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・大きな変化ではないが、徐々に比較的高額な多チャンネル契約が増加しており、良くなっている。
		通信会社（支店 長）	販売量の動き	・春商戦がスタートし、今月は駆け込み需要もあって、販売が増えている。ガソリン価格も下落して、短期的には良くなると考える。
	変わらない	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・平日、土日祝を通して来街者、通行量共に前年を上回っているが、消費行動には勢いが感じられない。お客の心をつかんだ一部の業種、業態ではにぎわい、売上を伸ばしているところもあり、消費マインドは悪くない。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・12月の通行量調査によると、中心商店街、特に再開発ビルの周辺は通行量が増えている。それが中心商店街全体に波及し、来街客が増えている。この傾向は今後も続くだろう。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	それ以外	・商店街では個人商店が閉店し、コンビニや大手カラオケ、居酒屋へと変わっていった。そのため、客層も消費の多い高齢層が減り、消費の少ない学生や若者が増えている。買物をした商品袋を持って歩いている人が少なくなった。
		スーパー（企画 担当）	お客様の様子	・売上高は前年を若干下回る水準で推移しており、来店客数が前年割れで推移している。原料の高騰による商品価格の上昇、天候不順による価格の変動が影響しているのではないかと。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・競合出店のため客数は落ちているが、景気が悪化してるとは感じていない。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・年末に新会社の発表があり、販売量の増加を期待したが、思うような受注状況ではない。
		乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・気象情報予想でこの冬一番の寒波襲来と発表されたため、カー用品店において、冬用タイヤ、タイヤチェーン及び雪に関する周辺商品の売上が大幅に伸びた。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・前月に比べ販売量が少し落ちた。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・軽自動車税増税に伴う市場環境は依然として厳しい状況が続いている。駆け込み需要で好調だった前年とは比較にならないが、1月は前年比20%以上減少の見込み。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	お客様の様子	・天候の影響で来店客数が減少しているが、若干の客単価アップにより前年並みの水準を維持している。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・年末、正月と出費がかさみ、消費を控えている状況なのだろう。
		観光型旅館（経 営者）	お客様の様子	・客数、消費はあまり変わらない。観光の面においても、あまり増えていないという状況である。
		旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・国内旅行は暖冬の影響でスキー客が減少したものの、概ね堅調に推移している。しかしながら、海外旅行は相変わらずテロ事件の影響で旅行を見合わせている。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・シーズンオフではあるが、予約状況は3か月前とはあまり変わっていない。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・新しい試みをしていないので、変化がない。
		美容室（経営 者）	お客様の様子	・来客数、客単価が変わらず低いままである。
	設計事務所（所 長）	単価の動き	・特に変わりはない。	
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	それ以外	・当面プラス材料は見つけにくい。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・年末から利用時間の短時間化に利用金額の減少等、顧客動向の鈍化を感じており、景気の悪化を感じる。

		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	・量販店やネット販売等とうちのような酒専門店では 価格差があり過ぎ、太刀打ちできない。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・天候の影響もあり、特に衣料品が悪く、まとめ買い もなかった。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・暖冬や大寒波といった気象による影響が、売上悪化 につながっている。それを考慮しても、高額品や化粧品 などの動きもやや鈍化している。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・暖冬の影響を受け、販売数量の減少が続いている。
		コンビニ（商品 担当）	販売量の動き	・ファーストフード、デイリーフーズ商品の販売状況 が鈍く、外的環境からも上向き要因を見つけれない。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・天候や気温の影響を受け、前年と比べて客数が徐々 に悪くなってきている。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・バーゲンに大きな期待をしていたが、来店客がやや 減った。大寒波の際は特に客足が相当鈍った。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・セールをやっているが、来客数の動きに変化が全然 ない。洋服に限っては落ち込んでいる。
		衣料品専門店 （総務担当）	販売量の動き	・暖冬の影響から重衣料の需要が減少しており、セー ルをしても大きくは変わらず、買い控えをしている。 売上も前年から10%前後の減収になると予想してい る。
		家電量販店（店 員）	単価の動き	・購入点数が増えている反面、安価商品ばかり選ばれ 単価の下落が続いている。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・年末年始は良かったが、正月が終わると客足が遠の き、その状況が続いている。
		通信会社（社 員）	販売量の動き	・安倍首相の携帯電話料金に関する発言により、料金 が安くなるのではないかとの期待感から、企業が購入 機会をうかがっているようで、販売数が低調である。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・1月の売上高は、前月比4.5%、3か月前比 16.6%、前年比5.7%とそれぞれ減少した。また、正 月レースにおいても、7.9%減となり前年に引き続き 減少した。
	悪く なっている	一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・雑誌を買わなくても、インターネットで情報を無料 で入手できるため、雑誌の売行きが非常に悪い。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・来客数だけにとどまらず、売上、客単価すべてにお いて悪化の一途をたどっている。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（支 配人）	販売量の動き	・暖冬の影響で、冬物衣料の動きが悪い状況が続いて いる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜の町に繰り出す人が少ない。昼間も買物客等が少 なく、売上は2割ほど下落している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・1月は例年、売上が極端に落ちる。昼間は変化がな いが、飲みに出る人が少なく、新年会もあまりないの で、夜が極端に悪くなっている。1～2月は遍路客も ないので、良くない。
企業 動向 関連 (四国)	良くな っている	-	-	-
	やや良 くなっている	パルプ・紙・紙 加工品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・前年と比べて、売上、利益共にやや良くなってい る。新規の得意先や新商品の投入で増加してきてい る。
	変わらない	農林水産業（総 務担当）	受注量や販売量 の動き	・市場入荷量が少なめの品目は、価格が前年を上回っ ている。
		繊維工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・今治タオルのラベル偽装事件発生後、今治ブランド のタオルの販売に少し影響が出ている。徐々に影響は 小さくなると思うが、記念品などではもうしばらく控 えられるだろう。
		一般機械器具製 造業（経理担 当）	受注量や販売量 の動き	・良い点も悪い点もあるが、全体的には大きな変化は ない。
		建設会社（経理 担当）	受注量や販売量 の動き	・受注量、販売量共に増加しているが、利益が見込め ない状況にあり、景気は変わらない。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・公共民間共に工事が少ない。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・平成27年度の公共事業発注量が想定よりも少なく、 なかでも地元企業の受注量が、競争により思ったより も少ないが、年度末までは手持ちで支えていけそう だ。

	輸送業（経営者）	取引先の様子	・原油価格の安定化が見えるものの、不安が付きまとう。	
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・暖冬の影響で、青果物の生産量に減少がみられ、販売価格の違いから、東日本と西日本では取扱物量に偏りがみられ、特に西日本では購買意欲の低迷が強い。また、暖房機器や冬物衣料、鍋物食材等の季節商材に加えティッシュ等の家庭紙製品の購買低下にもつながっており、景気の低迷を強く感じる。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・コンシューマー市場は春商戦等で活気付いているが、法人市場における引き合い、受注共に大きな変化は無い。	
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・一部業種では受注増に伴う運転資金の需要もみられるが、全体としてはまだまだ前向きな資金需要、特に設備投資が伸びているようには感じられない。	
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各企業の決算数値、試算表の数値を比較すると、売上、利益共にほとんど変動がなく、景気は変わらない。	
	やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・造船関連の受注量は現状維持しているが、その他の産業用機械関連等の受注が減少している。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて販売量が減少しており、それに伴い収益性も悪化傾向にある。ただし、市場やコンペターとの関係において特段の変化点は無く、通常の受注変動の範囲内と判断している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・12月の繁忙期明けの1月という事もあり、物量が大幅に減少している。路線定期便では積載率が低下し、従来にも増して立寄り先が増えた。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	職業安定所	それ以外	・12月の月間有効求人倍率は1.37倍となり、3か月前より0.18ポイント改善した。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・1月末に今年度採用の求人問い合わせが多く、特に中小企業においては採用人数が充足できていない状況が多く見受けられ、次年度の設備投資等の計画が立てられないケースもあるようだ。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数、派遣登録希望者数ともに横ばい。未経験者の就業希望者は増加傾向にあるものの、一定のキャリアを持つ労働者の動きは希薄である。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣の求人数は増加しているが、求職者数の減少とミスマッチが目立つ。
		人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・非正規労働の求人企業が最近、正規社員としての求人条件へと切替えている印象を抱いており、雇用の安定につながる景気観を感じる。ただ、人材不足傾向があるので、十分なサービスが提供できるのか不安も感じる。
		求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・求人数は高止まりしているが、人材不足が顕著になってきている。製造業では繁忙のための人手不足から求人を出していたが、長期に渡り採用できないという状況のため、受注量を調整する企業が散見されるようになってきた。
		新聞社 [ 求人広告 ] (担当者)	周辺企業の様子	・休日の百貨店の人出は今一つで、人気の映画館もがらがらだった。カーディーラーでは、広告出稿効果も少なく前年割れしており、売れているとの声を聞かない。
		学校 [ 大学 ] (就職担当)	求人数の動き	・3か月前には増加していた求人数が落ち着いてきている。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-